

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラス国分寺教室		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 4日 ～ 2025年 11月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	85 (回答者数)	57
○従業者評価実施期間	2025年 11月 25日 ～ 2025年 12月 12日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月13日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	「できた！」という成功体験を積み重ねられるよう、楽しさを大切にしたいトレーニングを実施しています。トレーニング内容や取り組み方については、利用者本人が目標を意識しながら取り組めるよう工夫しており、自己選択・自己決定を尊重した支援を行っています。	・トレーニングや余暇時間を通してアセスメントを行い、個々に応じた目標を設定しています。子ども面談を実施し、自己理解や目標意識を高めながら、興味や思いに寄り添った楽しい支援を心がけています。 ・トレーニング内容や取り組み方については、利用者本人が目標を意識しながら取り組めるよう工夫しており、自己選択・自己決定を尊重した支援を行っています。	・利用者一人ひとりの興味・関心を丁寧に把握し、活動内容や関わり方を工夫することで、主体的に参加できる機会を増やしていきます。自己選択・自己決定を大切にしながら、意欲や達成感につながる支援の充実を図ります。
2	自立に向けた支援プログラムを通して、日常生活に必要な生活技能やコミュニケーション力の向上に取り組んでいます。一人ひとりの段階に応じた支援を行い、成功体験を積み重ねながら自信と自立心を育てています。	・トレーニングを通して、身支度や時間・金銭管理などの生活技能の向上を図り、日常生活の中で自立した行動ができる力を育て、自力通所を目標とした支援を行っています。 ・グループワークを通じて協力する機会を意識的に設け、異年齢の関わりを活かしながら、相手を意識した関わりややりとりを学び、コミュニケーション力の向上を図っています。 ・報告・連絡・相談の大切さを理解できるよう、日常の様々な場面を活用した練習を行い、自分の状況を伝えたり、困ったときに助けを求める力の定着を目指しています	・就労移行支援で行われているプログラムを中高生向けの難易度に調整し、将来の就労を意識したトレーニングとして段階的に取り入れていきます。 ・高等学校卒業後の進路を見据え、一般就労や進学、福祉的就労など多様な選択肢に対応できるよう、個々の特性や課題に応じたトレーニング内容の充実を図ります。 ・本人の意思と選択を尊重し、将来の生活や社会参加につながる力の育成を目指します。あわせて保護者や関係機関と連携し、切れ目のない支援を行います。
3	利用者が地域のさまざまな場面で適切な支援を受けられるよう、学校や関係機関、地域資源と積極的に連携しています。情報共有を大切にし、安心して地域生活を送れる体制づくりに取り組んでいます。	・家庭・学校・地域の関係機関と密に連携し、支援会議やケース会議を通じて情報共有を行っています。子ども一人ひとりの状況や課題を共通理解し、継続的で切れ目のない支援体制の構築に努めています。	・研修会や勉強会などに積極的に参加し、最新の知識や支援方法を習得して利用者に還元することで、支援の質と内容の充実を図ります。
4	当事業所だけでなく会社全体で、児童発達支援から自立訓練、就労移行支援まで一貫した支援を行い、利用者が段階的に成長できる体制を整えています。	・利用者の将来像を踏まえ、「今身に付けておくべき力は何か」を明確にし、段階的に必要な技能や知識を習得できるよう支援しています。目標達成に向けて、一人ひとりに合わせた計画的な取り組みを重視しています。	・事業所間で連携を強化し、自立訓練や就労移行支援のトレーニングを見学したうえで、内容や様子を保護者に丁寧に伝え、理解と安心を支援に活かします。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・コロナ以降イベント開催が縮小しています。	・感染症対策のため、外出イベントや調理の実施を控えています。	・年間計画を策定し、参加者の安全面に十分配慮しながら段階的にイベントを実施していきます。昨年度は教室内でのイベントを中心に実施してきましたが、今後は状況を見極めつつ、事前のリスク確認を行ったうえで、教室外でのイベントも徐々に再開していく方針です。 利用者の安心・安全を最優先にしながら、活動の幅を広げ、事業所イベントの充実と利用者の経験機会の拡大を図っていきます。
2			
3			